

第3期宮前区区民会議 第8回^{ちさんちしょう}地参知笑部会

～ 地域の魅力を知り、地域社会への参加につなげ、笑顔あふれるまちに ～

日時：平成23年7月15日(金)18:00～20:00

場所：宮前区役所 第2会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて
- 3 その他

【配布資料】

- 資料1 第7回地参知笑部会 摘録(案)
- 資料2 コミュニティへの参加を促す冊子(8/2全体会議資料)
- 資料3 コミュニティへの参加を促す冊子の骨子案
- 資料4 関連ガイドブック一覧
- 資料5 今後のスケジュール

第3期宮前区区民会議 第7回 地参知笑部会 摘録（案）

日 時 平成23年6月14日（火）18：00～20：00

場 所 宮前区役所 第3会議室

参加者 委 員 持田部会長、恒川副委員長、山下委員長、平井委員、久保委員、
中村委員、高橋委員、吉田委員、種村委員
直本副委員長（オブザーバー）

事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

※ 前回の振り返りとして、各委員が資料1の内容を確認。

2 冊子による情報発信と仕掛けづくりについて

①目次について

吉田 各公園でやっていることを紹介してはどうか。団体の紹介はきりがなくなるが、老人会や子ども会、高齢者の市民団体を紹介する。老人会は40団体ある。

中村 高校生・大学生の世代では、安くておいしい店やスポーツができる場所を紹介する。若い世代では、食育講座を紹介する。高齢世代は花が見える場所を加える。病院と交通手段も紹介出来るといい。体験は手芸や工作の体験を紹介するといい。世代を超えるのところに農業体験を入れてはどうか。

種村 最初の意見と同じだが、どんな樹木があるかを木にぶらさげるといいと思う。

平井 それぞれのエリアで取材する人を募る。ネイチャーゲームをやっているが、自然体験を体験のところに入れたい。どういう人がいるか、得意分野を紹介する。

持田 自然体験はやっている団体を紹介するのか。

平井 私が入っている団体がやっている。

久保 宮前区の自然の特色を紹介したい。ネイチャーゲームや冒険遊び場を紹介出来るとうい。冒険遊び場は世代交流が出来る場となっている。子育て世代はとことこに集約されている。とことこは分厚いから見ないという話になるが、人とのつながりがあるように見える。とことこを使った体験レポートがあるといい。地域のお母さんたちが自主的にやっているグループに参加してみるなど。最近の若いお母さんたちは小さい子を抱えていてもスタッフをやりたいという人が増えている。また、産休の人も地域と繋がりたいという声がある。担い手になってくれる人はいるのではないか。高校生や大学生については、市民館で文化魂というグループがいる。その人達を中心につくっていったらどうか。また、宮前スポーツクラブではミクシーを使った情報交換をやっている。

高橋 サイズや発行回数が決まっていない。内容についてはこれぐらいでいいのではないか。後はそれぞれの世代でやってみてはどうか。また、発行時期によっては今年中に動く必要があるのではないか。施設紹介でも生の声を出した方がいいので、全体的に体験の要素が多いと思う。また、マリアンナ病院の体験なども入れてはどうか。ゲームは予算が必要ではないか。ガイドブックの一覧は大変参考になる。

第3期宮前区区民会議 第7回 地参知笑部会 摘録(案)

恒川 子育て世代では、子育て支援センターなどがどこにあるのか、救急診療所などがどこなのか知りたいと思う。子どもがいる働き世代は公園やなし狩りなど、親子で行ける場所に興味があるのではないかな。また奥さんは地産地消の直売所に興味があるのではないかな。高齢世代は散歩や病院に関心があると思う。体験では人が盆踊りのような集まるようなものを紹介してはどうか。

直本 産休と育休で1年半ぐらいある。そういう人たちに地域に興味をもってもらうといいのではないかな。また、高齢者と働き世代の中間や、高齢者といっても60歳代のような層があるのではないかな。

山下 町内会・自治会に入ってもらうことが重要ではないかな。お店としては、スポーツクラブや温泉を紹介してはどうか。また、直売所は多くあるので紹介してはどうか。さらに宮前区は大学がない。学生の知恵を拝借してはどうか。

持田 みなさんに意見を出してもらったがその結果はどうか。

佐谷 資料2と持田さんの意見については入れていないが、それ以外の意見では、高校生・大学生については、お店やスポーツできる場所や若者グループが追加された。若い世代は子ども会。働き世代は直売所やなし狩りが出来る場所、高齢世代は病院や老人会、花の見える場所、体験出来る場所では、農業や自然体験、里山、冒険遊び場、マリアンナ病院、スポーツクラブなど。ゲームはウォークラリーやクロスワードパズルを合わせたものなどが出てきていた。作り方はそれぞれの年代の人に体験してもらい、あまりコンテンツを詰めなくていいのではないかなという意見が出ていた。

持田 体験レポートはどうか。また、中学生・高校生が公園で遊んでいても疎まれてしまう。ゲームセンターを紹介するわけにはいけないし。

区 コンテンツを詰めることによって作り方を考えるというのもある。例えば働き世代だとどのような紹介になるのか。コンテンツを考えながら、どういう紹介の仕方があるかを考えていただきたい。

②制作体制について

持田 どのように作っていくかということが問題となる。

平井 高校生・大学生のところに、中学生も入れた方がいい。

高橋 それぞれの視点でつくってもらえればいい。

久保 われわれは情報を提供して、選ぶのは取材する人でいいのではないかな。

平井 発行回数を多くしてはどうか。

持田 年に1回出すことは出来るのか？

直本 2年に1回ぐらい出せないのか。

恒川 転入者はどれぐらいか。

区 7000世帯ぐらい。

高橋 情報発信は基本だと思う。いかに仕組みをつくっていくか。20ページぐらいなら毎年つくことはできると思う。広告収入を入れるのもある。また、世代はもう一つぐらいあるのではないかな。

久保 子どもが小学生に上がるとちょっと違うかもしれない。

直本 子どもが中学生になるとまた違う。

第3期宮前区区民会議 第7回 地参知笑部会 摘録（案）

- 持田 働き世代は大人が楽しむイメージだった。
- 平井 独身世代もある。地域に入らないと思うが、子ども会の役員をやっている例もある。
- 高橋 横浜市では婚活を仕組んでいた例もある。
- 持田 昔は鷺沼プールがあったからいろいろな世代が集まったと思う。
- 恒川 これはこれでいいのではないか。つくる段階で詰めていく。
- 高橋 とことこを見た体験を入れると、とことこの紹介になると思う。また、参加券をつけると捨てられなくなる。
- 持田 町会に参加する動機になるようなものがあるか。
- 直本 お祭り、お神輿など。
- 高橋 どこの盆踊りが一番面白いか、というのをつくと面白いと思うが。
- 平井 どこも工夫しているから一番を決めるのは難しい。
- 高橋 お店を載せるのもできるかどうか。
- 久保 体験ということで、個人的な意見として掲載すればいいと思う。
- 吉田 親を呼んだ例もある。
- 久保 親を呼んで地域になじんだ例を紹介する。
- 高橋 お店はOKとしてほしい。
- 区 商店街連合会で推薦してもらえれば掲載できると思う。ただ、ガイドブックに掲載すると、2年間は特定の店だけが掲載されるので公平性の観点から難しいと思う。
- 持田 若い子が紹介したいと考えたら載せてもいいのではないか。
- 恒川 今の段階では拘束しない方がいいのではないか。
- 持田 次の人たちに渡せるものということで考えているので、いろいろ出してもらっていいと思う。
- 平井 ガイドブックのガイドブックとして使ってみた体験をレポートする。
- 直本 資料3に出ているガイドブックは入手可能なのか
- 区 いくつか廃刊になっているものもある。これらのガイドブックは解説が中心になっている。「実際に行ってみてどうだった」というのが今回の冊子の目玉だと思う。
- 久保 体験と併せて既存のガイドブックの紹介をしたらいいと思う。
- 恒川 たまプラーザ駅の近くにサッカーができる所がある。宮前区にはあのような場所が欠けているのではないか。
- 久保 先程、中高生は公園で遊びにくいと言う話があったが、冒険遊び場は中高生でも来ている。
- 高橋 シニアリポーターという制度がある。誰がつくっていくのか。情報発信する仕組みが必要ではないか。
- 持田 誰がつくるのかを考えていく必要がある。
- 高橋 みんなが参加してネットワークでつくっていくといいと思う。
- 区 観光記者は？
- 高橋 宮前の風は記者4名でやっている。まちづくり協議会や市民館も一緒にやっていくといいのではないか。部数は10000部、大きさはA4かA5判。いつ発行するのも決めてほしい。

第3期宮前区区民会議 第7回 地参知笑部会 摘録(案)

- 区 どういう体制でやると良いか検討する必要がある。来年度予算にも関係する。
- 高橋 実行委員会形式より市民記者の養成講座をつくり、グループ化した方がいいと思う
- 持田 丸投げすることはできるのか。
- 高橋 るるぶのようなことはできると思う。捨てられない仕組みが必要だと思う。
- 持田 町会の運動会ではプログラムにナンバーを振って抽選するため捨てられない。丸投げがないとするとどうなるのか。
- 久保 市民館で市民を募って記者を養成するという方法もある。
- 区 市民館との連携もありえる。
- 山下 他の区ではどのようなものを配っているのか。
- 高橋 都筑区は冊子をつくっている。
- 山下 何かヒントとなるものはないか。
- 高橋 マップ形式のものもある。
- 平井 坂道はガイドブックをつくるのか。
- 直本 つくる。今のメンバーがある程度コースを選定する。今期だけではできないと思う。
- 区 坂道はコンテンツが絞られているので、作り方も違ってくると思う。
- 直本 坂道のガイドブックは1度つくればそれほど変わらない。
- 持田 次回までの宿題と日程を決めないといけない。
- 区 コンテンツを考えてもらったが、次の人たちへのヒントという形でまとめていく。
市民館との連携以外に何か方法はあるか。
- 高橋 まちづくり協議会に話をした方がいいと思う。
- 平井 まちづくり協議会や観光協会は同じようなことをやっていると思う。
- 恒川 まちづくり協議会は中間支援組織で、活動団体を紹介する団体である。区民会議は提案をして、実施方法についても提案する。
- 吉田 業者に丸投げするという方法もある。
- 高橋 継続してつくるために組織があった方がいいと思う。既存の団体にやってもらうということもある。
- 区 1度整理して、全体会までにもう1度集まってもらいたい。日程は7/15の午後8時からとする。

コミュニティへの参加を促す冊子



今、宮前が熱い
住む町から参加する町へ



地参知笑部会の検討の軸

題 材：宮前区の産物（モノ・場所・活動・人）

仕掛け：冊子による情報発信

参加の仕組み

宮前区の産物や
まちの楽しみ方を
提案する冊子

参加の仕組み

冊子を読んだ人を
地域参加に導く
仕掛け

冊子を活用した
住民交流の促進
方法

目標：宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

今年度の検討経過

第5回：平成23年4月15日（金）

- ・宮前区に愛着をもち、地域への参加を促すための冊子
⇒目的・ターゲットなどを検討



第6回：平成23年5月16日（月）

- ・委員が作成した目次案の報告 ⇒ 目次案のまとめ



第7回：平成23年6月14日（火）

- ・コンテンツのイメージと制作体制を検討



第8回：平成23年7月15日（金）

- ・制作体制と区の情報戦略を検討

冊子の目的・対象

■ 目的・対象

① 転入者

② 川崎都民（情報が届きにくい層）

毎年7,000世帯
宮前区は、人口が増えている！！

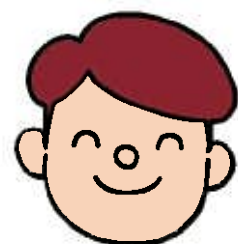
神輿が担げる

お宮参り

農産物



知ってほしいのです！！宮前区
風を感じ、体験してほしいのです。
そして、参加してほしいのです。



ガイドブックと同じなのは？

■イメージ

- ①宮前区のパンフレット
- ②ガイドブックのダイジェスト版
- ③冊子などを紹介する冊子

同じものが多い
情報が伝わってない



区民とつながる
橋渡しになる冊子

とっておきたくな
る！

規格(るるぶ的 表紙)

A4 版・フルカラー・20ページ

年間1万部配布・23年度中発刊

内容・編集方針

仕掛

仕組み

内容(もくじ)

■もくじ

- ①世代別リポート
- ②体験できるページ
- ③ゲーム・遊び感覚
- ④冊子を紹介
- ⑤宮前区のプロフィール・概要

写真を載せて、顔の見
えるカタチにする！



①世代別レポート

- ①高校生・大学生
- ②若い(子育て)
- ③働き世代
- ④高齢世代

山本一夫さんご一家（宮前区神木在住）

自由に宮前区を体験、レポートしてもらう。

新住民が感じることをストレートに伝える。

新住民は、新しい
感覚とセンスがあ
る。私たちは、コー
ディネートする。



宮前に来て6ヶ月



エリアに特徴がある
ので考慮するとい
い！

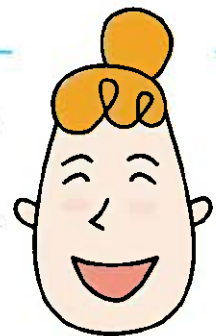


②体験できるページ

体験 **見学**
できます。



市民館の教室は、カ
ルチャースクールと
同じ、参加すること
でつながりができる。



体験して、その土地となじむことができ、
地域とのつながりのきっかけになることも...



町内会未加入世
帯が3割！！加
入を促すリポート
も必要。

③ゲーム・遊び感覚 ← 読み物から参加型へ

「コミュニティへの参加を促す冊子」の特徴的なページ。
読み物から参加型の冊子になる！！

スタンプラリーや謎解きゲームなどが考えられ、商店
会等との**タイアップ**も期待できる。

継続的な企画が良い。



新しい仕組みづくりが必要になる。住民・企業・団体・行政と連携が生まれるようにする。

みやまえカルタが
進行中。
紹介できるかも...

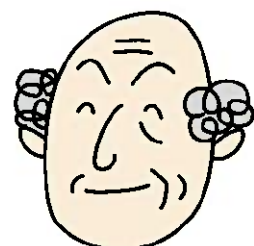


④冊子を紹介

情報を発信しているが、区民に届いていないという課題がある。この冊子では、冊子などを紹介するページを作る。

ただ、この冊子自体が区民に届くかも疑問である。
情報を伝える**「仕組み」**が必要になる。

宮前平駅に宮前区
の電光掲示板を設
置するくらいの気持
ちが必要だ。



⑤宮前区のプロフィール・概要

宮前区について、紹介する。



ところで、この冊子誰が作成するの？



(仮称)みやまえ情報サポーターズ創設

市民への情報発信

市民グループの育成・組織化 **仕組み**



この冊子づくり...

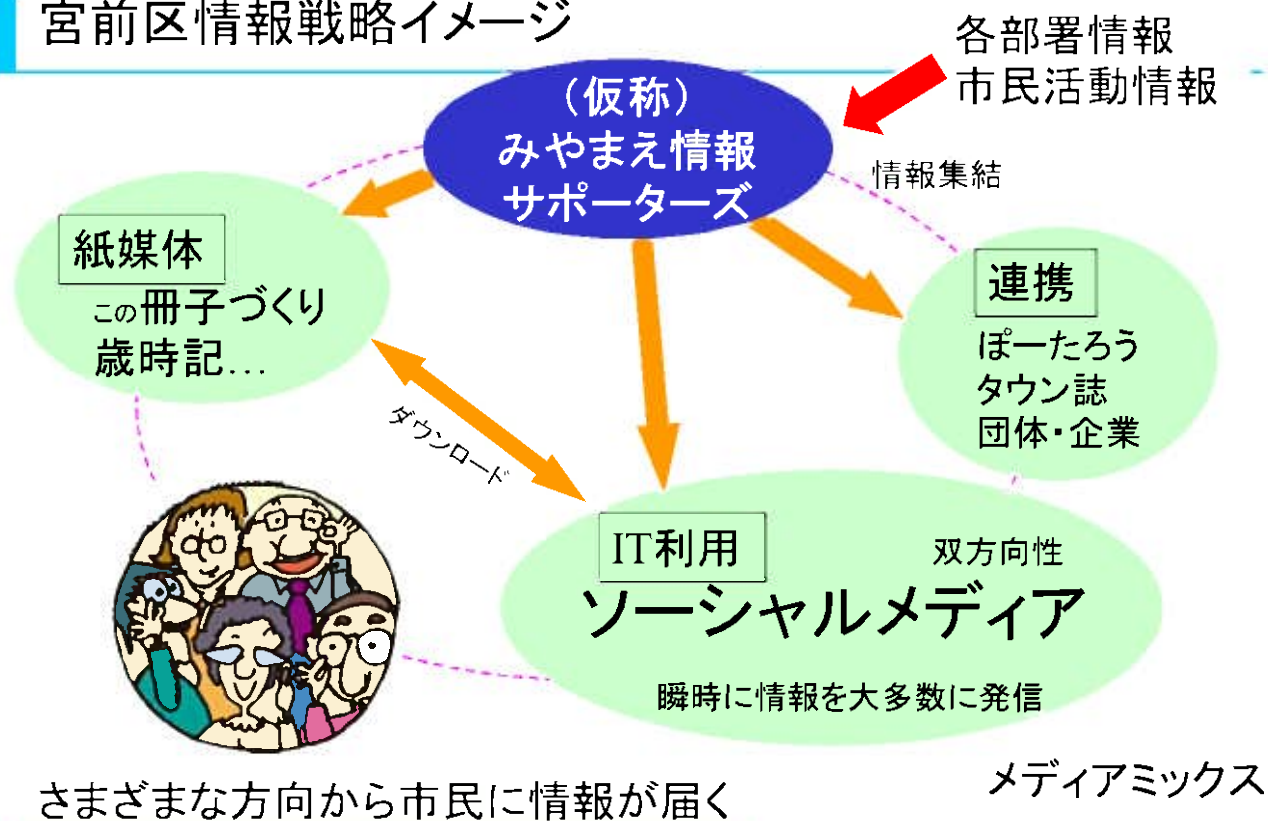
づくり

宮前区情報戦略
継続的な活動

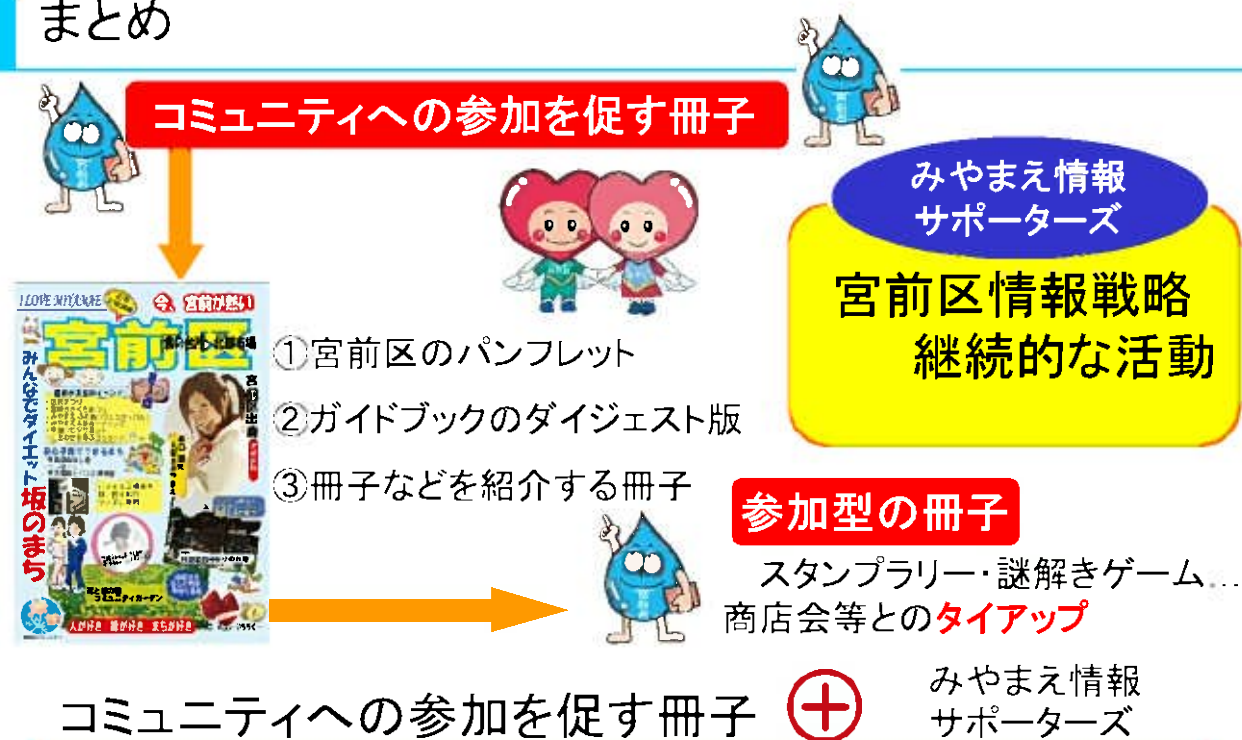


非実行委員会形式

宮前区情報戦略イメージ



まとめ



作るものがあるって、作る組織づくりで、新しい1歩に...

終



ありがとうございました。

コミュニティへの参加を促す冊子の骨子案

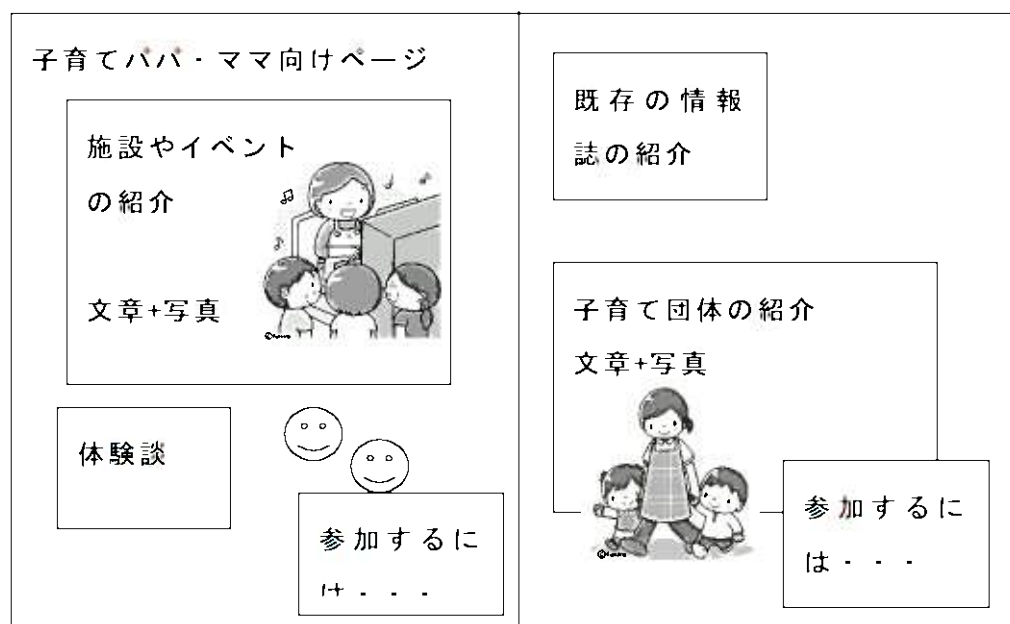
1 冊子の目的、対象

- ① コミュニティへの参加を促すものとする
- ② 項目ごとにターゲットとなる読者を明確にする
 - ・ 転入者や川崎都民など、情報が届きにくい層
 - ・ 高齢者や子育て世代などの世代別などの切り口
- ③ 個々人がほしい情報をわかりやすく伝える
 - ・ ガイドブックのガイドブック的なイメージ
 - ・ 10分程度で一通り読めるくらいのボリューム
 - ・ 顔の見える親しみやすいものにする
 - ・ 読み物としても面白いものとする

2 冊子の作り方、更新の仕方

- ① 全体のボリュームは 15～20 ページ程度。短時間で通読できるようにする
- ② 作る段階や更新する段階で区民が参加する仕組みをつくる

【冊子のページのイメージ例】



3 目次と主なコンテンツのイメージ

1 宮前区をよく知りたい人のために	
中学生・高校生・大学生	【場所】 ・安くておいしい店 ・無料で勉強できる施設 ・デートスポット ・スポーツができる場所+ミクシーでの情報交換 【人・組織・情報】 ・市民館の若者グループ「文化魂」 ・イベント・サークル紹介
若い(子育て)世代	【場所】 ・店（子連れでも気にならない） ・公園+利用しているサークル情報 ・散歩コース ・病院 【人・組織・情報】 ・子育てサークル ・子育てで困ったときの情報 ・食育講座
働き世代	【場所】 ・店（買い物・飲食） ・散歩コース ・広場 ・地産地消の直売所 ・貸し農園 ・家族で行ける場所（なし狩りなど） 【人・組織・情報】 ・地域イベント（祭り・盆踊り・初詣等）
中間の50～60歳代	（追加？）
高齢世代	【場所】 ・公園+サークル・体操の情報

	・店 ・病院と交通手段 ・散歩コース ・花の見える場所 【人・組織・情報】 ・ボランティア団体紹介 ・老人会 ・運動や体操、スポーツを通じた健康づくり情報
2 体験できるページ	
世代を超え 体験（参加）できること	【神社・寺院関連】 ・御神輿担ぎ手募集 ・神社の行事 ・お宮参り、交通安全祈願 【町会・自治会関連】 ・盆踊り ・町会・自治会の運動会 【その他】 ・体験農場 ・手芸等 ・ネーチャーゲーム、自然体験、里山体験 ・冒険遊び場 ・マリアンナ病院体験 ・スポーツクラブ ・イベント情報（坂道ウォーキングなど） ・坂道・活力部会とのタイアップ
3 ゲーム、参加	
参加につなげるゲーム的な仕掛け	・ウォークラリーによる宝探しやクロスワードパズルによる謎解き ・バッジプロジェクト ・スタンプラリー
4 ガイドブックのガイド	
5 区のプロフィール	

	人口、景色、歴史、産物
--	-------------

【作り方】

① 区民レポーターにより情報を紹介してもらう

- ・それぞれの年代の人に取材してもらう。
- ・若い世代については、「とことこ」に掲載されている場所などを体験してもらい、記事にしてもらう。
- ・若い世代については、産休や育休中の人に積極的に関わってもらう。
- ・市民館で区民レポーター養成講座を開催して、その中で冊子をつくるという方法もある。

② 付加価値をつける

- ・参加券をつけると捨てられにくい。

関連ガイドブック一覧

川崎市内をターゲットとしたガイドブック類				
分野	ガイドブック名	宮前区との関連	発行年月	発行部署
生活	かわさき生活ガイド	窓口業務・施設案内など	毎年	市民・こども局シティセールス・広報室
名所	川崎の産業観光	電車とバスの博物館	23年	経済労働局産業振興課
	かわさきのミュージアム	電車とバスの博物館	23年2月	博物館等連絡会事務局
	川崎日和	影向寺、菅生神社、等覚院、カッパーク鷺沼、フロンタウンさぎぬま、有馬療養温泉、宮前メロン、カトルカール、駿河屋製菓など	22年3月	経済労働局商業観光課 川崎市観光協会連合会
	かわさきいいな。	電車とバスの博物館 フロンタウンさぎぬま カッパーク鷺沼	22年	市民・こども局シティセールス・広報室
	Discover Kawasaki (外国人向)	有馬療養温泉	—	経済労働局商業観光課
自然	かわさきのみどり遊歩道 ガイドマップ	野川ふれあいの森 南野川ふれあいの森	—	環境局緑政課
産物	かわさき名産品	洋菓子工房マカデミア 太平屋野川店 駿河屋製菓	22年	川崎商工会議所 川崎市観光協会連合会
	かわさきそだち農産物共同直売所マップ	宮前直売所 かわさき農産物ブラン	22年5月	JAセレサかわさき 市農業振興センター
シニア	いきいきシニア活動インフォメーション	シニア活動	22年6月	総合企画局自治政策部

宮前区内を主なターゲットとしたガイド類			
分野	ガイドブック名	発行年月	発行(所管)部署
歴史	宮前歴史ガイド	22年3月	地域振興課
健康	宮前区公園体操マップ	22年8月	地域保健福祉課
	宮前区ストレッチ体操～風の中で～	22年	地域保健福祉課
市民活動	まちづくり・市民活動応援カタログ	22年2月	地域振興課
	みやまえ市民活動のなかま	23年2月	地域振興課
	宮前区市民活動応援マップ	22年3月	地域振興課
	「活動の場」ガイド	22年3月	地域振興課
	はいりませんか 町内会 自治会	—	地域振興課
自然	平瀬川探索マップ	21年	平瀬川流域まちづくり協議会
	水沢の森 花ごよみ	20年4月	水沢森人の会
	樹木の里めぐり	—	セレサ川崎など
子育て	みやまえ子育てガイドとことこ	22年	こども支援室
名所	みやまえガイドマップ	毎年	地域振興課
	宮前区ガイドブック	18年9月	地域振興課
産物	宮前区向ヶ丘地区周辺農産物直売所マップ	20年3月	市民館菅生分館
	宮前区食育ガイド	23年3月	地域保健福祉課
イベント	歳時記みやまえ	毎月	企画課

今後のスケジュール

■平成23年度のスケジュール

年度		平成 23 年度											
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
専 門 部 会	全 体 会					第5回区民会議			第6回区民会議		第7回区民会議	区長への提案	区民会議フォーラム
	企 画				●	予算を伴う提案をオーソライズ		●			●	●	
	活 力 づ け り	●	●		●		●	●			●		
	地 参 知 笑	●	●	●	●		●	●			●		

● 優先順位をつけて検討

- ・ ガイドブック制作体制
- ・ ガイドブック活用方法（PR、ゲーム・イベント）
- ・ 情報発信の方向性